

胆振管内 登別市立若草小学校

1 学習活動の概要

アイヌの人たちが創り上げてきた歴史や文化等を尊重する態度を育てるため、「ウポポイ」の各施設の見学や研究員による専門的な説明を聞く機会を位置付け、アイヌの人たちの歴史・文化等への理解を深める探究的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

児童は、社会科で学習したことを振り返り、「アイヌの人たちが使っていた道具」や「アイヌ文様で刺繍された衣装」等、個々の興味・関心に基づいた課題を設定しました。

(2) 情報の収集

「ウポポイ」の各施設の展示資料による調べ学習や「アイヌ古式舞踊」などの伝統芸能の鑑賞を通して、各自が設定した課題の解決に向けて情報を収集しました。また、ビデオ会議システムを活用したリモートによる研究員との質疑応答を通して、児童は新たな課題を発見しました。

(3) 整理・分析

市立図書館で収集した関連書籍の情報や、「ウポポイ」での学習活動におけるメモや写真などの情報を整理しました。

(4) まとめ・表現

整理した情報を新聞にまとめることにより、学習した内容について、理解を深めました。



【展示資料を見学する様子】



【リモートによる研究員との質疑応答】

3 児童の感想等

- ・「ウポポイ」にある小川や木を見て、アイヌの人たちが自然を大切にしていた気持ちを知ることができました。
- ・アイヌの人たちのことをもっと知りたくなりました。これから、アイヌ語を覚えられるように頑張りたいです。
- ・アイヌ文化や道具について知ることができました。特にチセの中に、宝物や鮭の皮でできた本物の靴が展示されていたのに驚きました。
- ・一番思い出に残ったのは踊りです。全員の息がぴったりですごかったです。
- ・今度は家族と行って、解決できなかった疑問について、くわしく調べてみたいです。